

令和6年度事業計画書について

コロナ禍が新たな局面となり、様々なイベントが実施されるなど、コロナ以前の風景が戻ってきた。そこで、令和6年度については、将来にわたり、多くの方々に楽しんでいただける高尾山の魅力継承に向けた事業を実施する。

1. 目 的

観光地としての高尾山の魅力を未来へ継承するという、高尾山応援基金の目的を具現化するための事業として、これまで高尾山応援基金運営協議会で検討してきた、活動支援事業・課題解決事業・参加型事業の3つを柱として事業を実施する。

2. 事 業

(1) 活動支援事業

高尾山の魅力を高める活動を行う団体に対して、活動費の助成を行う。活動を支援することを通じて、高尾山の魅力を高め、さらに活性化させるとともに、次世代につながる担い手となる活動団体を支援する。

予 算 額 団体3件 9万5千円

(2) 課題解決事業

高尾山の魅力を高めるために課題解決を行うための事業を実施する。アンケート・聞き取り調査を踏まえて、高尾山を楽しむために必要な情報の発信などを行う。

① 情報発信事業

ア. 高尾山ポケットマップを活用した情報発信

事業内容 ポケットマップを利用し情報発信を行う。提供する情報の中で「ごみの持ち帰り」をはじめとした高尾山ルールの周知等を行う。

イ. むささびハウス設置のデジタルサイネージを活用して高尾山応援基金のPRや高尾山に関する情報発信を行う。

② ごみ袋活用事業

事業内容 高尾山で行われる清掃活動のボランティアに対して、ごみ袋を提供する。

(3) 参加型事業

高尾山の魅力を多くの人たちに伝えることを通じて、さらに高尾山の魅力を高める活動に関わる担い手の創出を目的としたポスターコンクールを開催する。

事業内容	市内の小学校・中学校及び市内在住の小学生・中学生対象にポスターコンクールを実施し、高尾山の魅力を作品にしてもらう。
実施時期	夏休み期間
展示会場	高尾 599 ミュージアム、南口総合事務所などを予定
予算額	10 万円

3. PR・募金活動

(1) 普及・募金活動

① もみじまつり

(2) 常設募金箱設置

① 高尾 599 ミュージアム

② むささびハウス

(3) 寄付つき商品事業

高尾 599 ミュージアムでは、商品購入額の一部が高尾山応援基金に募金される寄付つき商品として、デザイン手拭い・ステッカー各 3 種及びレジ袋の販売を行っている。

① 高尾 599 ミュージアム

デザイン手拭い・ステッカー各 3 種及びレジ袋

4. その他

(1) 事務局運営費

事務局運営費として、10 万円を計上する。

(2) ホームページ経費

基金に関する情報発信を目的に平成 30 年度にホームページを開設しており、ホームページの管理運営に要する経常経費として 1 万円を計上する。